



エコネット通信

VOL.30



デイキャンプで立ち木に雪で顔を。どう？

森を川をこの里の自然を子ども達へつなげたい！

ホームページ : <http://tono-econet.org/> フェイスブックでも情報発信中！

《遠野・森のがっこうの全体構想図》



子ども第3の居場所づくり助成

「遠野・森のがっこう」(案)を申請

子ども達をとりまく環境

現在、国内における子ども達の約3分の1が、経済的・家庭的・学校生活などにおいて何らかの困難を抱えているという調査報告があるそうです。ちよつと信じられない数字で

すが、それだけ子ども達を取り巻く環境は、目に見えないほど深刻化しています。

子ども達が抱える困難は、家庭環境の影響を大きく受けやすく、また、学校では解決が難しい状況となっていることから、家庭でも

学校でもない第3の居場所が子ども達には必要となります。日本財団では、この「子ども第3の居場所」づくり事業に取り組み

団体を募集しており、子ども達との自然体験活動を続けて来た当会では、この事業に申請を行うことにしました。

この事業には3タイプがありますが、当会では「地域コミュニティモデルタイプ」に申請しました。これは昨年度から始まったもので、子ども達が、地域の多世代の人々と関わることで、人と関わる力や自己肯定感を高めるといふ地域密着型の事業です。

遠野・森のがっこう

この事業では、現在当会

が週末を中心に実施している子ども向け自然体験活動を、平日や長期休暇等にも行える様に、更に発展させる形となります。イベント型から、常設型へと変更するため、荒天時や極寒時などに避難でき、また、郷土食づくりなどの体験もできる施設を、オッホーの森に隣接した場所に建設したいと考えています。施設内には、子ども達が囲らんでできるリビングの他に、会議室や調理室、更に長期宿泊体験を想定した宿泊室も兼ね備えます。また、屋外にも野外炊事場を設営し、長期キャンプ体験などもする予定です。また、登録した児童の送迎も行う予定となっています。

令和5年度からの3年間は、運営費の補助もありますが、その後は自立した運営が求められるため、都市部の子ども向けの山村留学やワーケーション留学、お試し田舎移住体験などにも取り組みたいと考えています。

morittoのモデル施設

この事業で建設する施設ですが、当会では森林資源を活かした地域ブランド「moritto」を検討してきたことから、できれば、次世代へと発信できるモデル的な建物にしたとと考えています。地域の森から生まれた材料を最大限活用し、森の景観にマッチしたもので、再生可能エネルギーも取り入れたゼロエネルギーハウスに。

申請の可否は3月中の予定なのですが、採用となった際は、当会の拠点施設が出来ることになり、また当会の核となる継続的な事業となるため、多くの方々にご協力いただきましたと考えています。

森のデイキャンプ「おひさまのねっこ」 12/10(土)1/14(土)

12月の「おひさまのねっこ」は、7名の小学生が参加。午前中は雪が積もったオッホーの森へ森探検。途中、立ち木に雪をくっつけて顔を描いたり、雪玉を作って転がしたり。この日の雪は、よく固まるため、巨大な雪玉ができました。午後は早池峰交流館へ移動し、昨年の春の種まきから、田植え、草取り、稲刈りまでした稲藁を使って、しめ縄やリースづくりをしました。地域の藁細工名人の方にも指導いただきながら、できた藁のリースには、森で見つけた木の実なども飾りました。良い新年を迎えたと思います。

1月の「おひさまのねっこ」は、10名の小学生が参加。小雨が降る中での開催となり、集合は早池峰交流館。施設の中で、春から田んぼで育てて収穫した新米ご飯でカレーを食べる準備。飯ごうでお米を研いで水に浸け、カレーの具材となるニンジンやタマネギ、ジャガイモを皮むきして切り分け、仕込みは完了。その後、車で移動して森探検へ。森の中で「雨降りでも燃える焚き木」をどうやって集めるかをスタッフに教えてもらい、全員で焚き木探し。広場に戻って、焚き火をしながらカレー鍋づくりをして、美味しいカレーライスができました。昼食後は、ソリレース大会などをした後、交流館へ戻りネイチャーゲームを楽しみました。



12月のデイキャンプでは、森に巨大な雪玉ができました。



1月のデイキャンプでは、ソリ引きレースをしました。

森のようちえん「どんぐりのぼうし」 12/17(土)1/21(土)

12月は4組の幼児とその家族が参加。この日のメイン行事は、畑で育てて収穫した大豆を使っての豆腐づくり。会場は早池峰交流館。最初にスタッフが手づくりの紙芝居で、豆腐の作り方を子ども達に説明。その後、水に浸けていた大豆を、ミキサーやスリコギでつぶしました。つぶした大豆を鍋で煮ている間、子ども達は外へ。ソリを持って、隣の早池峰神社の坂で滑り降りたり、ふるさと学校の広い校庭で雪遊びをしました。いっぱい遊んだ後は施設に戻り、いよいよ豆腐づくり。ニガリを入れて、豆腐をつくります。今回は時間も限られているため、できたのは寄せ豆腐。その他に、大量にできたオカラは油で揚げて。それぞれ器に盛って、みんなで美味しくいただきました。

1月も4組の幼児とその家族が参加。朝の会で「どんぐりのぼうし」を歌ったら、ソリを手に森を抜けて牧草地へ向いました。途中には、雪の上に動物たちの足痕もいっぱい。ニホンジカやリス、テン……。開けた牧草地に着いたら、ソリが滑りそうな高台をみざします。前日の雨で雪が柔らかくなり、なかなか滑りが悪かったのですが、何人かコースを造ると、段々にスピードを出して滑れる様になりました。雪遊びの後は、早池峰交流館へ移動して、森で拾った木の実や木の葉などを使ってのネイチャーアート体験。白い紙に、思い思いに貼付けて、顔を描きました。なかなか、独創的な面白い作品が完成しました。



12月のどんぐりのぼうしで、豆腐づくりを体験しました。



1月のどんぐりのぼうしでは、ソリ遊びができました。

山仕事はじめての一步(入門)講座 12/11(日) 1/15(日)

12月の参加者は13名。薪の駅近くの松崎町内の実習林にて、午前中は杉の間伐・造材を実習。お昼には、スタッフが薪ストーブで調理した豚汁をいただき身も心も暖まりました。午後は、集材の実習。トビやトング、サルカンなどを使用して、造材した丸太を作業道路まで運ぶ方法を学びました。

1月の参加者は15名。土淵地区センターの会議室で、安全講習と森づくりなどについて、座学での講習となりました。岩手県内でも、毎年林業の死亡事故が発生しており、安全の再確認ができました。



12月の山仕事講座では、集材の実習を行いました。

活動報告 (12月～1月)

ムーンライトハイキング 1/7(土)

真っ白い雪に覆われた大地に月明かりが降り注ぐと、まるで日中の様な明るさがあります。そんな、ちょっと不思議な冬の自然の魅力を体感できるイベントとして開催しているのが「ムーンライトハイキング」です。1月の満月は7日(土)。この日は9名が参加。18時に早池峰交流館に集合後、車に分乗し移動。雪原を目ざし歩き始めました。雪が降りしきる中でのハイキングとなりましたが、そんな中でも、はっきりと周囲が見渡せる明るさに、参加者は驚いていました。頂上まで登った後は、ソリで下山。なかなか、滑らない雪質に苦労しましたが、満月の下で大いに雪と戯れて遊びました。



ムーンライトハイキングで雪が降る中での雪原歩き。

炭っこ倶楽部 12/16(金・遠野緑峰高校) 1/27(金)

12月の炭っこ倶楽部は、薪の駅の炭窯にて、遠野緑峰高校3年生5名も含めて総勢12名で、講師である千田淳氏(楽炭・北上市)の指導のもと、炭を窯から出し、梱包。午後は炭材の窯への立て込みを行いました。夕方には無事に火入れを行い、その後高校生達が学校に泊まり込んで、翌日まで窯口で火を絶やさずに焚いてくれました。

1月の炭っこ倶楽部は、大槌町の地域おこし協力隊メンバーも参加し、8名で先月と同様に窯出しや立て込み、火入れまでを体験しました。大槌から参加した協力隊員は、現在借りている家には囲炉裏があり、そこで使用する木炭が必要とのことで、講師の千田さんに木炭について質問していました。「体験するまでは、木炭の値段が高いと感じていたが、実際に作業をして、炭を作る大変さが分かり、炭の値段がそれなりにする理由が分かった。」と感想を話してくれました。



12月の炭っこ倶楽部で炭材を窯に入れる緑峰高校生達。

薪づくり倶楽部&森の笠地藏プロジェクト

12/4(日)1/8(日)

薪ストーブの本格的な稼働シーズンを迎えています。冬場も毎月薪づくり倶楽部は継続して開催しています。12月は14名、1月は15名が、寒さにも負けずに、薪を作り薪棚に積んでいきました。

また、高齢者宅に薪を無料で配達する「森の笠地藏プロジェクト」として12月は午前中に上郷町のお宅に軽トラック3台で配達し、薪ストーブの煙突掃除も行い、午後は綾織町の2軒に各2台薪を配達しました。1月の薪づくりの日には、小友町のお宅に3台で薪を配達し、その家の煙突の交換や、薪の積み直し作業も行いました。また、薪づくり以外の日にも、スタッフが12月中に附馬牛のお宅に2台の薪を無料で配達することができました。



1月の薪づくり。寒さにも負けず頑張っています！

森業倶楽部 12/25(日) 1/22(日)

12月と1月の森業倶楽部は、上郷町の菊池光典氏を講師に間伐材の木工作业。12月は、クリスマス時期と重なるので、恒例となっている薪の駅のピザ窯を使ってのピザづくり。いろいろとトッピングを変えて美味しくいただきました。また、1月は、講師の光典さんに、塗装方法についての学ぶこともできました。



森業倶楽部では、間伐材の木工作业が形になってきました。

間伐倶楽部 12/24(土) 1/28(土)

12月の間伐倶楽部は6名、1月は8名が参加し、薪の駅近くの松崎町内の実習林で間伐・造材の作業をエコネットスタッフと共に行いました。講座参加者や修了者が参加していますが、経験の数が増すたびに上達していくのが頼もしい限りです。



間伐倶楽部では山仕事講座修了生が指導者となっています。

主な活動の予定（2月～3月）

月日	タイトル	内容	活動場所
2/5(日)	薪づくり倶楽部/森の笠地蔵P	薪づくり、薪配達他	薪の駅、高齢者宅
2/6(月)	ムーンライトハイキング	満月の夜の雪原歩き	薬師岳山麓他
2/11(土)	森のデイキャンプ「おひさまのねっこ」	イグルーづくりと雪遊び	オッホーの森他
2/11,2/18(土)	「すっぴん土曜日」放送(代表千葉)	エコネットの活動紹介予定	IBCラジオ(8時35分頃)
2/12(日)	山仕事はじめの一步(入門)講座	チェーンソー目立て、ロープワーク	福祉センター会議室
2/18(土)	森のようちえん「どんぐりのぼうし」	森のおさんぽ、雪遊び他	オッホーの森
2月下旬	森フェス2023@遠野打合せ会議	森フェスの日程・内容検討	コモンズスペース
2/25(土)	間伐倶楽部	間伐・集材体験	松崎実習林
2/26(日)	森業倶楽部	間伐材の木工	薪の駅
3/4(土)	森楽倶楽部	早春の森の自然観察	松崎実習林
3/5(日)	薪づくり倶楽部/森の笠地蔵P	薪づくり、薪配達他	薪の駅、高齢者宅
3/11(土)	森のデイキャンプ「おひさまのねっこ」	春の森の固雪歩き他	オッホーの森
3/12(日)	山仕事はじめの一步(入門)講座	実習まとめ、特別講習	松崎実習林他
3/18(土)	間伐倶楽部	間伐・集材体験	松崎実習林
3/19(日)	森業倶楽部	間伐材の木工	薪の駅
3/25(土)	森のようちえん「どんぐりのぼうし」	森のおさんぽ他	オッホーの森

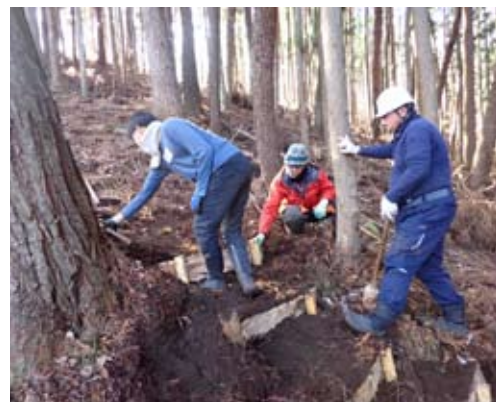
【編集後記】

この冬は暖かいままで終わるのではという淡い期待もはずれ、寒中に入ると連日の真冬日。そんな寒さが厳しい最強寒波が訪れた1月25日。岩手県内の工務店関係者のネットワーク団体の方9名が、薪の駅を訪ねてくれました。この日は当会で間伐した山と放置された山を見比べた後に、実際に手鋸での間伐も体験しました(下写真)。

森の中には、多種多様な木々があり、曲がっていたりする木もあるのですが、その個性を活かし利用できる方法を共に考えて行きたいと思います。(千葉)



発行:NPO法人遠野エコネット
令和5年2月4日発行
岩手県遠野市附馬牛町上附馬牛19-530
Tel&Fax 0198-64-2250
E-Mail:pahaya@tonotv.com



山の神様への参道整備として、間伐材や枯れ木を使って、歩きやすい様に階段づくりを行いました。

山の神様の年取り〜参道整備活動実施

12月12日は山の神様の年取りの日です。

当会で昨年度から間伐等を実施している遠野町内の里山には、山の神様を祀る祠があります。昨年は、倒れていた鳥居をヒノキの間伐材を使って作成。山主やボランティアの方々にも協力いただき、山の神様の日に

再建できました。

今年度は、山主の方が身内にご不幸があったということで、盛大なイベントは自粛となり、当会のスタッフで、参道に階段を作る作業を行いました。杉の間伐材の皮を剥いて杭をつくり、枯れたクリ材を割って土留めにしました。来年度まで、この山の整備が続くため、来年度には頂上まで階段をつなげられたらと考えています。また、坂の途中にも、傾いた鳥居があるため、来年度はこの鳥居も再建予定です。

お昼過ぎには作業を終えて、スタッフで御神酒を上げて山の神様を拝むことに。すると、かつてこの山の近所に住んでいたという方が、お参りに来て、一緒に参拝できました。今でも、山の神様の信仰が続いていることが嬉しくなりました。「これからも安全に山の作業ができますように」祈りました。